

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するかを示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

商学部カリキュラムマップ

商学部商学科の教育目標			商学部商学科のディプロマポリシー（DP）										
商学部は、教育目標を「ビジネス・ヒューマン・バリュー（Business Human Value）の創造」とし、「ビジネス・ヒューマン・バリュー」をもつ人材の育成を行っている。「ビジネス・ヒューマン・バリュー」とは、①本学建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」を深く理解し、高い倫理観と豊かな人間性をもつこと、および②ビジネスに関する専門的知識や技能を修得し、ビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力を身につけていること、を意味する。													
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1		C-DP2								
			本学建学の精神である学一 体」、「報恩感謝」への深い 理解、高い倫理観と豊かな 人間性										
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方（分類法など）や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎	△									
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え（世界観・価値観）の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎	△									
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部「大学で学ぶために」を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	◎										
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部「大学で学ぶために」を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	◎										
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	◎									△	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	◎								△	
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	◎	○								
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心を向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	◎	○								
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	◎									
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	◎									

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
論理学 I B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。	◎	○								△	
論理学 II B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。	◎	○								○	
文学 I B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。	◎										
文学 II B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。	◎										
美術 I B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	◎										
美術 II B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎										
法学 I B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。	◎	△			△	△					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一 体]、「報恩感 謝」への深い 理解、高い倫 理観と豊かな 人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
歴史学 I B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	◎										
歴史学 II B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	◎										
地理学 I B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なものとのとらえ方を身につける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	◎	○		△							
地理学 II B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なものとのとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べるができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	◎	○		△							
数学 I B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。	◎	△			△			△			
数学 II B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。	◎	△			△			△			
統計学 I B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。	◎	○	△		△			△	△		
統計学 II B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計的手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。	◎	○	△		△			△	△		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。	◎										
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。	◎	○	△			△	○	○			
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。	◎	○	△			△	○	○			
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。	◎	○							△	△	
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。	◎	○							△	△	
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。	◎	○				△	○	○			
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。	◎	○				△	○	○			
健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。	◎										
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる	◎	○		○							△
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる	◎	○		○							△
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる	◎	○		○							

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報の関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる	◎	○		○						
英語Ⅰc B114-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる	◎	○		○						
英語Ⅱc B114-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる	◎	○		○						
ドイツ語Ⅰ B114-145-01	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	◎			○						○
ドイツ語Ⅱ B114-145-02	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	◎			○						○
中国語Ⅰ B114-147-01	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。	◎			○						○
中国語Ⅱ B114-147-02	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。	◎			○						○
韓国語Ⅰ B114-148-01	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。	◎			○						○
韓国語Ⅱ B114-148-02	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。	◎			○						○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。	◎										△
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。	◎										
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み書きの高度な日本語力を身につけることができる。	◎										
日本語Ⅰd B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べるができる。	◎								△		
日本語Ⅱd B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	◎										△
日本語Ⅰe B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。	◎										
日本語Ⅱe B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。	◎										
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる	◎	○		○							○
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる	◎	○		○							○
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる	◎	○		○							○
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる	◎	○		○							○
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる	◎	△		○							
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる	◎	△		○							

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報の関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる	◎	△		○							
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる	◎	△		○							
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる	◎	○		○							○
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる	◎	○		○							○
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる	◎	○		○							○
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる	◎	○		○							○
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる	◎	○		○							
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる	◎	○		○							
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる	◎	○		○							
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる	◎	○		○							
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる	◎	○		○							○
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる	◎	○		○							○
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる	◎	○		○							○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報の関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる	◎	○		○							○
ドイツ語Ⅰ(基礎) B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	◎			○							○
ドイツ語Ⅱ(基礎) B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解	◎			○							○
ドイツ語Ⅲ(読解) B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	◎			○							○
ドイツ語Ⅳ(読解) B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化	◎			○							○
ドイツ語Ⅲ(表現) B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	◎			○							○
ドイツ語Ⅳ(表現) B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力(作文力)強化	◎			○							○
ドイツ語Ⅲ(総合) B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化	◎			○							○
ドイツ語Ⅳ(総合) B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化	◎			○							○
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成	◎			○							○
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成	◎			○							○
中国語Ⅰ(基礎) B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。	◎			○							○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
スペイン語Ⅰ(基礎) B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習する。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。	◎			○							○
スペイン語Ⅱ(基礎) B134-149-12	スペイン語Ⅰ(基礎)で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。	◎			○							○
スペイン語Ⅲ(読解) B134-149-21	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形などさらにレベルアップした内容を学んでいく。	さまざまな時制を含むバリエーションに富んだ文章が理解できるようになる。	◎			○							○
スペイン語Ⅳ(読解) B134-149-22	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、幅広い種類の文章に慣れる。	辞書を使ってやや長い文章が理解できるようになる。	◎			○							○
スペイン語Ⅲ(表現) B134-149-31	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去や未来の時制といった中級程度の内容を学ぶ。	あらゆる時制を使いこなし、自分の気持ちのある程度自由に表現できるようになる。	◎			○							○
スペイン語Ⅳ(表現) B134-149-32	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。比較表現や命令形など、表現の幅を広げていく。	辞書を使いながら、大きな支障なくコミュニケーションが取れるようになる。	◎			○							○
スペイン語Ⅲ(総合) B134-149-41	スペイン語Ⅰ、Ⅱを学んだ学生に向けた授業。過去形など中級程度の内容を学び、演習を多く行う。	会話や文字などさまざまな手段で、自分の気持ちのある程度自由に表現することができる。	◎			○							○
スペイン語Ⅳ(総合) B134-149-42	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを学んだ学生に向けた授業。命令形や反実仮想といった上級レベルの表現を学ぶ。	辞書を使えば大きな支障なく相手とスムーズなやり取りができる。	◎			○							○
スペイン語会話Ⅰ B134-149-51	先生や学生どうしでのコミュニケーションを通して、正しい発音を身につけつつ挨拶など基礎的な表現を学ぶ。	挨拶、簡単な自己紹介、日常の動作といった基本的な表現を覚え、簡単なコミュニケーションが取れるようになる。	◎			○							○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
スペイン語会話Ⅱ B134-149-52	スペイン語会話Ⅰを履修した学生を対象に、嗜好や予定などさらにバリエーション豊かな表現を学ぶ。	繰り返し練習を重ね、辞書を使ってさらに複雑なコミュニケーションが取れるようになる。	◎			○							○
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	◎										
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	◎										
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	◎										
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	◎										
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	○		○							○
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	○		○							○

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	○		○							○
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	○		○							○
商学入門 C131-239-01	この授業では、愛知学院大学商学部で4年間に何を学ぶのか、3つのコース(流通・マーケティング、会計・金融、ビジネス情報)のそれぞれにおいてどのようなことを学ぶのかを理解する。	商学部での学修内容に関心を持ち、将来、どのようなコース(専攻)を選択するのかを決定する際に役立つ、各分野における最も基礎的な知識を身につける。	△	◎	△	△	△	△	△	△			
経済学Ⅰ C111-232-01	経済学における主要分野の一つであるミクロ経済学を学びます。具体的には、経済学の基本的な概念、消費者と生産者の行動および意思決定、市場メカニズムを通じた価格や取引量の決まり方などを理解します。	ミクロ経済学についての知識を修得し、その知識を用いて市場経済に関する諸問題を考察できる力を身につけます。		◎					△				
経済学Ⅱ C111-232-02	経済学における主要分野の一つであるマクロ経済学を学びます。具体的には、GDP、物価、雇用、経済政策などを理解します。	マクロ経済学についての知識を修得し、その知識を用いて経済全体に関する諸問題を考察できる力を身につけます。		◎					△				

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			<p>本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性</p>	<p>ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力</p>									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
経営学Ⅰ C111-238-01	経営学Ⅰでは、経営学の基本的な知識、その中でも特に経営戦略論について、代表的な理論(例えば、アンゾフやポーターの理論など)を学修します。経営戦略は、あらゆるビジネスにおいて、最初に考えなければならない課題であり、そして経営戦略論は、様々な学問分野においても役立つ思考方法です。どの企業も活動領域を決め、成長と競争の戦略を立てています。こうした経営戦略の考え方の背景には、どのような理論があるのかを学修します。	基本的な戦略論を学ぶことにより、ビジネス社会の中で生きていく上での、戦略的思考や、問題解決力を身につけることができる。		◎									
経営学Ⅱ C111-238-02	経営学Ⅱでは、経営学の基本的な知識、その中でも特に経営組織論について、代表的な理論(例えば、科学的管理法やリーダーシップ論など)を学修します。戦略を練ったら、次は組織づくりが重要です。というのは、実際に動くのは組織の中に配置された現場の従業員だからです。優れたリーダーが、リーダーシップを発揮して、組織メンバーのやる気を引き出し、組織を動かしていく。そのためには、どのような理論があるのかを学修します。	基本的な組織論を学ぶことにより、ビジネス社会の中で生きていく上での、組織的行動や思考を身につけることができる。		◎									
流通論Ⅰ C111-239-01	本講義のテーマは流通に関する基礎概念を学ぶことです。流通という言葉の意味から始まり、それにまつわる様々な用語の解説をします。私たちの生活にとって、流通は重要な経済活動の一つですが、そこに含まれる活動にはどのようなものがあるのか取り上げていきます。	流通に関する基礎的な用語の意味を理解することができる。また、流通に含まれる様々な活動の存在を知り、それらを整理して理解することができる。		◎	△	△							

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
流通論Ⅱ C111-239-02	本講義のテーマは、流通活動を担当している流通機関の種類と役割、それを規制する政策について学ぶことです。生産者、小売業者、卸売業者など、自分たちに身近な企業が流通においてどのような役割を果たしているのか。また、自らが消費者として流通にかかわっている点も学ぶことになります。	生産者、小売業者、卸売業者、消費者など流通機関の種類と役割について理解することができる。とりわけ、商業者(小売業者、卸売業者)の社会的存在意義について自分なりに説明できるようになる。		◎	△	△							
会計学Ⅰ C211-240-01	会計とは、経済主体の経済活動について、関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、彼らに説明する社会的な行為である。この講義では、会計とは何かから始め、会計の基本的な知識と考え方を学ぶ。	会計とは何かということを説明できるようにする。会計の基本的な考え方について述べるようにする。会計情報の役割を説明できるようにする。		◎			△						
会計学Ⅱ C211-240-02	企業の経営成績や財政状態を明らかにするために決算の際に作成するのが財務諸表である。財務諸表が利害関係者に伝達され、判断や意思決定に利用される。この講義では、財務諸表が作成され公表されるシステムや財務諸表の利用などについて学ぶ。	会計原則・基準について説明できるようにする。財務諸表を読んで企業との関わりに関する判断や意思決定をできるようにする。会計制度について説明できるようにする。		◎			△						
情報リテラシーⅠ C111-601-01	本講義では、レポート(報告書)や卒業論文など、文書を作成する。本科目では、情報処理の基礎(機器、マナー、OS)を学び、ワープロソフト(Word)を使って文書作成を演習する。	コンピュータを利用するための基礎がわかる。ワープロソフトを利用して、文書作成ができる。MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)試験に合格する。		◎					△	△			
情報リテラシーⅡ C111-601-02	本講義では、情報受信者に情報を効率的に説明する目的で、データを集めて分析する。表計算ソフトExcelを使って、データ集計やグラフ作成を演習する。	一般的な表計算ソフトが使えるようになる。MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)試験に合格する。		◎					△	△			

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
マーケティング論Ⅰ C231-239-01	企業のマーケティング活動とは、「動的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、基礎的・総論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。			◎	○							
マーケティング論Ⅱ C231-239-02	企業のマーケティング活動とは、「動的に変化していく市場や環境に対し、企業が創造的に適応していく対市場活動」である。この授業では、マーケティング論の体系のうち、各論的な内容について学ぶ。	ビジネスにおいて必要とされる、マーケティングの基礎的な概念や理論を身につけることができ、将来、自らマーケティング戦略を策定し、実行するための基本的な能力を修得することができる。			◎	○							
流通チャネル論Ⅰ C231-239-03	流通チャネルの構成員である、生産者、卸売業者、小売業者、消費者それぞれの流通への関りやそこでの役割を学ぶ授業です。とりわけ、流通の主力である卸売業者と小売業者に焦点を当てます。卸売業者と小売業者が社会で果たしている役割を理解することが目標です。	流通チャネルを構成する各機関のうち、とりわけ重要な卸売業者や小売業者がなぜ社会に存在し、それがどのように社会で役に立っているのか説明できるようになることが目標です。			◎	△							
流通チャネル論Ⅱ C231-239-04	流通チャネルの中心的構成員である事業者の経営問題について学ぶ授業です。とりわけ、我々に身近な小売業者のマーケティングについて焦点を当てます。小売業者の顧客対応、生産者や卸売業者との関係性を取り上げていきます。	小売業者のマーケティングを中心とした商業の経営問題を理解することによって、将来商業に関連する仕事に従事することに向けた知識基盤を形成することが目標です。			◎	△							
グローバル・ビジネス論Ⅰ C231-239-05	国際ビジネスの基礎的な事項を修得できるようにする。	国際ビジネスを展開する多国籍企業がいかなるビジネスとマーケティングをおこなっているのかを明らかにし、正確な理解と実務へ応用できるようにすることに繋げるのが本科目の目標です。		○	○	◎						○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
グローバル・ビジネス論Ⅱ C231-239-07	国際ビジネスの応用的な事項を修得できるようにする。	国際ビジネスを展開する多国籍企業が具体的なビジネスとマーケティング戦略行動をおこなっているのかを明らかにし、理解、実務へ具体的な事例へと応用できるようにすることに繋げるのが本科目の目的です。講義内容は国際ビジネス論Aを履修していない学生には理解が難しい。		○	○	◎						○	
初級簿記Ⅰ C131-240-01	簿記とは、企業の様々な経済活動を、数値として記録・計算・整理するための手段であり、これから皆さんが学修する商学や会計学とも関係するものです。本講義科目では、簿記の基本的な考え方や手続きについて学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、簿記(特に複式簿記)の基礎的な事項の知識修得を目標とします。具体的には、日商簿記検定3級レベルの知識の修得を目指します。						◎					
初級簿記Ⅱ C131-240-02	簿記とは、企業の様々な経済活動を、数値として記録・計算・整理するための手段であり、これから皆さんが学修する商学や会計学とも関係するものです。本講義科目では、簿記の基本的な考え方や手続きについて学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、簿記(特に複式簿記)の基礎的な事項の知識修得を目標とします。具体的には、日商簿記検定3級レベルの知識の修得を目指します。						◎					
金融論Ⅰ C231-236-01	金融に関する制度を中心に学びます。具体的には、貨幣、金利、金融機関の機能、各種金融商品の特徴など、金融の基本的な仕組みを理解します。	金融制度についての知識を修得し、その知識を用いて金融の意義や金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。							◎				
金融論Ⅱ C231-236-02	金融に関する理論を中心に学びます。具体的には、資金調達者と資金提供者の間における資金やリスクの移転についての仕組みや考え方を理解します。	金融理論についての知識を修得し、その知識を用いて金融の意義や金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。							◎				
財務会計論Ⅰ C331-240-01	企業の経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの状況といった財務情報を企業外部の利害関係者に伝達するため利用される財務諸表の作成にかかわるルールとその背景にある会計理論を中心に学びます。	(1)財務諸表の作成において利用される専門的なルールを説明できること(2)財務諸表において利用される専門的な用語を説明できること(3)財務諸表を読解し、企業の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況を専門的に分析できること						◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一 体」、「報恩感 謝」への深い 理解、高い倫 理観と豊かな 人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を 身につけている。	ビジネスの現 場において必 要不可欠とさ れる広範な知 識や技能を修 得している。	流通、および マーケティング に関する深い 知識や優れた 技能を身につ けている。	国際ビジネス に関する深い 知識や優れた 技能を身につ けている。	会計に関する 深い知識や優 れた技能を身 につけている。	金融に関する 深い知識や優 れた技能を身 につけている。	情報通信技術 に関する深い 知識や優れた 技能を身につ けている。	ビジネスと情 報との関わり に関する深い 知識や優れた 技能を身につ けている。	修得した専門 的な知識や技 能を用いて、 ビジネスの現 場において自 ら問題を発見 し、それを解 決することが できる。	ビジネスの現 場における問 題解決に必要 なコミュニ ケーション能 力を身につけ ている。	
財務会計論Ⅱ C331-240-02	企業の経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの状況といった財務情報を企業外部の利害関係者に伝達するため利用される財務諸表の作成と読解にかかわる論点を学びます。	(1)財務諸表の作成において利用される専門的なルールを説明できること(2)財務諸表において利用される専門的な用語を説明できること(3)財務諸表を読解し、企業の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況を専門的に分析できること					◎						
管理会計論 C331-240-03	管理会計は企業などの組織の管理には必要不可欠な理論と技術ですが、「何を」「どのように」測定するのが重要となります。本講義ではこの観点から管理会計に関する基本的な事項を網羅的に学修します。	本講義科目では、現代でも多くの組織において用いられている管理会計(いわゆる伝統的管理会計)および、近年(1990年代以降)の企業環境の変化に応じた管理会計の展開に関する基礎的な知識の修得を目標とします。					◎						
情報社会論 C231-902-01	本講義では、ビジネス、生活、社会、組織一般で利用されている情報システム、ネットワーク、情報の光と影を学ぶ。	身近な情報システムの理解を通じて、情報化社会の進展に対応する力を養う。							○	◎			
情報倫理 C231-902-02	情報化社会、特にビジネスの各場面においてインターネット・情報を取り扱う際には、特有の問題が生じる。本講義では、これらの問題に適切に対処するために必要な情報倫理に関する知識を学ぶ。具体的には、情報倫理、情報化社会、インターネット利用などに関する基礎的な事項を学んだうえで、インターネット・情報に関する様々なモラルやルール、セキュリティを学ぶ。	①情報化社会において必要な情報倫理の概要を説明することができる。②ビジネスにおいてインターネット・情報を取り扱う際に必要なモラルやルール、セキュリティを説明することができる。							○	◎			
情報産業論 C231-902-03	企業でどのようにITが活用されているのか、どのような人材が求められるのかについて理解できるようにする。	情報産業論では、私たちの住む社会の中でどのように産業が情報によって支えられているのかについて言及していきます。							◎	◎			

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一 体」、「報恩感 謝」への深い理 解、高い倫理観と豊かな 人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
流通政策 I C331-239-01	本講義では、流通政策の総論と競争政策を学ぶ。第一に、流通政策の基礎的な概念や近年の転換を理解する。第二に、流通政策のうち近年強化改正され、企業活動で重要性が高まっている競争政策を理解する。特に、競争政策が企業の活動に与える影響や、企業の対応について特に理解を深める。	①流通政策の根拠・目的・枠組みを説明することができる。②競争政策の根拠・目的・枠組みと企業活動に対する具体的な規制内容を説明することができる。		○	◎								
流通政策 II C331-239-02	本講義では、流通政策 I で学んだ事項を基礎として流通政策の各論を学ぶ。具体的には、中小小売商業に対する振興政策、商業まちづくり政策、その他の流通政策を理解する。特に近年の大規模小売業者の成長・上位集中化や中小小売業者の衰退といった流通部門の変化と、これらの政策の変化との関係について理解を深める。	①振興政策、商業まちづくり政策、その他の流通政策の根拠・目的・枠組みを説明することができる。②流通部門の変化と流通政策の変化を関連付けて説明することができる。		△	◎								
製品戦略論 C331-239-03	この講義は、広く企業が競争してきた製品に関して有形・無形の役割を果たしていること、今日の企業の競争にはブランドが企業経営において中核的な役割のひとつを担っていくことが理解する。	この講義の到達目標は、マーケティング論の中で製品戦略を位置付けること、製品戦略がどのように顧客ニーズを充足しているかを理解すること、そして、異業種間の連携によって背品戦略が有効となることを身につけることにある。			◎	△							
ブランド論 C231-239-08	この講義では、戦略的なブランド論の理解を目的とする。戦略的な視点からブランドを捉えることは、日々の生活の中でのイメージ、サービスに関する付加価値、そして持続的な発展競争優位を遂げることを学んでいく。	この講義の到達目標は、広く企業が競争してきた製品に関して有形・無形の役割を果たしていること、今日の企業の競争にはブランドが企業経営において中核的な役割のひとつを担っていくことが理解できることにある。			◎	△							
消費者行動とマーケティング戦略 C231-239-06	本講義では、適切なマーケティング戦略の策定に役立つ、①消費者の心理的、行動的側面に関する理論や概念、および②消費社会に関する主要な見解について学ぶ。	将来、マーケティング実務においてマーケティング戦略を自ら策定し、実行するために必要な消費者行動論の知見(①消費者の心理的、行動的側面に関する知見、②消費社会についての知見)を身につけることができる。			◎	△							

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
サービス・マーケティング論 C331-239-04	本講義ではサービス業のマーケティングについて総合的に学修します。サービスの概念や特性といった基本的な内容から今日的な研究課題に関してサービス・マーケティングの理論と手法について学びます。	サービス・マーケティング論の概念や理論に関する知識を体系的に修得することができる。サービス業において実践されているマーケティング活動について分析、考察する力を身につけることができる。			◎	△							
マーケティング・コミュニケーション論 C331-239-05	本科目では、広告主(広告料金を支払って広告を掲出する主体のこと)の立場から、マーケティング・コミュニケーション戦略、および広告戦略を自ら策定し、実行するための理論や手法について学ぶ。	広告主の立場からマーケティング・コミュニケーション戦略、および広告戦略を自ら策定し、実行するための基礎的な能力を養うことができる。			◎	△							
国際商務論 I C331-239-06	国際取引の典型である貿易取引を、国民経済間の経済交流活動としてマクロの視点から学ぶ。特に、日本の貿易取引の現状および動向について、貿易統計や国際収支統計を始めとする各種の統計資料や映像資料に基づいて理解してゆく。	日本の貿易取引の現状を理解することで、将来こうした分野にすんだ者にとって、自社の行動を的確に分析することができる。また、戦後70年間の日本の貿易取引の動向を理解することで、今後の動向を予測することができる。										△	
国際商務論 II C331-239-07	国際取引の典型である貿易取引を、企業や個人間の取引活動としてミクロの視点から学ぶ。具体的に展開する方法・技術・手続きといった実務的側面と、貿易契約に関する商慣習を中心とする売買理論的側面の2面から理解してゆく。	国際取引の典型である貿易取引の実務的側面と売買理論的側面とを理解することで、将来こうした海外の業者との取引に関わる者にとって、自社の取引内容を論理的に分析し、自社の取引活動を的確な方向へ進めることができる。										○	
グローバル・マーケティング論 C331-239-08	経済のグローバル化に伴い、ビジネスは多面的に展開される。本講座では、国際マーケティングについて、概要と諸理論に関する基礎と、その応用事例を学ぶことで、マーケティングの全体像を理解する。	国際情勢における経済の仕組み、経営活動におけるマーケティングの位置づけを理解することにより、地域社会における多様性に考えを及ぼすことができる。これにより問題点の発見、原因の解析、その解決策について多面的に考察する態度を養うことができる。			○	◎							

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
中級簿記(工業簿記) I C131-240-05	本講義科目では、原価の計算について学修します。本講義では主に、原価計算を学ぶうえで知っておくべき基礎的な知識や、財務諸表作成にも関わる原価情報の計算(実際原価計算)について学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、原価の種類や計算方法に関する日商簿記検定2級(工業簿記)レベルの知識の修得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎						
中級簿記(工業簿記) II C131-240-06	本講義科目では、原価の計算について学修します。本講義では主に、標準原価計算や直接原価計算など、経営上の判断の際に有用な原価計算について、その具体的な手法や活用のされ方について学修します。	本講義科目での授業および計算問題演習を通じて、原価の種類や計算方法に関する日商簿記検定2級(工業簿記)レベルの知識の修得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎						
上級簿記 I C131-240-07	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識を学修します。具体的には、簿記一巡の手続き、商品売買、棚卸資産、収益認識、税効果会計、現金預金などといった内容について学修します。	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識をマスターすること					◎						
上級簿記 II C131-240-08	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識を学修します。具体的には、有価証券、外貨換算会計、デリバティブ取引、有形固定資産、リース取引などといった内容について学修します。	日商簿記検定1級の商業簿記・会計学および税理士試験簿記論のレベルに相当する簿記・会計の知識をマスターすること					◎						
原価計算論 C231-240-01	企業を管理していくうえでは、管理のために「何を」・「どのように」測定・計算するのかということが重要となります。本講義科目ではこの観点から、企業の管理のために行われている様々な原価計算を網羅的に学修します。	本講義科目では、企業の管理のために行われている様々な原価計算に関する知識の修得と、実際にそれらの原価計算ができるようになることを目標とします。					◎						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
国際会計論Ⅰ C331-240-04	国際会計の目標は「どこの国で作られたものであっても、国際的に理解され、情報の利用者が、適切な判断と意思決定ができるような会計情報をつくりだし、伝達すること」である。その会計情報は「一組の国際的な会計基準」に基づいて作成される必要がある。この講義では、一組の国際的な会計基準の必要性と各国の会計システムについて学修する。	一組の国際的な会計基準の必要性について説明できるようにする。各国の会計システムについて説明できるようにする。国際的な会計基準の調和化および統合について説明できるようにする。				○	◎						
国際会計論Ⅱ C331-240-05	国際会計の目標は「どこの国で作られたものであっても、国際的に理解され、情報の利用者が、適切な判断と意思決定ができるような会計情報をつくりだし、伝達すること」である。その会計情報は「一組の国際的な会計基準」に基づいて作成される必要がある。この講義では、一組の国際的な会計基準の具体的な現れである国際会計基準審議会による国際財務報告基準の内容とそれによる国際的統合について学修する。	会計基準の国際的調和化から統合への歩みについて説明できるようにする。国際的会計基準の設定機関について説明できるようにする。IFRSに準拠して作成された財務諸表を読むことができるようにする。国際的な会計基準の統合によってより良き社会が実現できるかについての自分の考えを述べることができるようにする。				○	◎						
税務会計論 C331-240-07	税法独自の思考やその思考を反映した会計処理、さらに、課税所得の計算方法、国際課税について学修します。	税務会計における課税所得概念と財務会計における利益概念との相違を理解できるようになります。加えて、課税所得計算や税額計算の知識を獲得することができます。					◎						
会計監査論 C331-240-08	財務諸表の信頼性を保証する会計監査という業務について、①その意義・目的、②会計監査を担当する者(査査人)の資格・要件、③監査実施の手順、④監査の結果の伝達手段を学びます。	会計監査を受講することによって次のことができるようになります。①財務諸表が信頼できる内容を持つものかどうか、どの程度の信頼性をもっていいのかの判断。②不正会計が行われた場合、その責任が誰にあるのかについての適切な判断。③株式会社の仕組みと、株式会社が成立する要件の理解。④公認会計士試験を目指す受講生にとっては、受験のための基礎知識の獲得。					◎						

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
財務諸表分析 C331-240-06	財務諸表の基本的な見方、収益性や安全性といった企業の経営特性を分析する方法、証券投資等における応用的利用方法について学びます。適宜、実際の財務諸表データを利用して企業特性を分析します。	投資者や債権者といった企業の外部者の視点から、公表財務諸表に基づいて、企業の収益性、安全性、成長性などといった経営特性を分析することや、企業価値を評価することができるようになります。					◎						
銀行論 C331-236-03	銀行の機能や役割を学びます。具体的には、銀行の役割と種類、銀行の業務内容、金融市場の仕組み、中央銀行の機能などを理解します。	銀行の機能や役割についての知識を修得し、その知識を用いて銀行の意義や銀行に関する諸問題を考察できる力を身につけます。						◎					
証券論 C331-236-02	企業金融等をベースに標準的な証券論(主として制度・政策面)の考え方を修得します。	証券に関する制度や政策における諸領域の基礎について、基礎的知識を修得できるようになります。また、証券市場やファイナンスに関する制度・理論・政策にわたる多角的視点から証券市場の動向を観察し現実の諸問題に対して考察し基礎的事項を修得できるようになります。						◎					
保険論 C331-236-05	保険は「危険」に対処するための手段として発展してきましたが、日本人は危険の意味さえもろっか理解できていません。日本人の特徴を踏まえ、危険と保険そしてリスクの関係を学修します。	保険理特有の危険の意味を理解し、正しい形でリスク対策としての保険理論を理解できるようになります。また、各種の保険の経営形態や国家の保険政策について理解できるようになります。						◎					
リスクマネジメント論 C331-236-06	企業経営においては、高度なリスクマネジメントが必要不可欠である。本講義では、リスクマネジメントの全体像を把握し、リスクマネジメント手法の進化について、ERMの観点から不確実性への対応について考える。	企業経営におけるリスクマネジメントの基本や機能を理解でき、かつ潜在的リスクや顕在化したリスクの管理手法を修得し、実生活で応用できる。						◎					
国際金融論 C331-236-01	国際金融に関する制度や理論を学びます。具体的には、国際収支、国際通貨、外国為替相場、外国為替市場などについて、制度と理論の両面から理解します。	国際金融の制度や理論についての知識を修得し、その知識を用いて国際金融に関する諸問題を考察できる力を身につけます。				○		◎					

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
コーポレートファイナンス論 C331-236-04	企業の財務戦略を担うコーポレート・ファイナンスの理論と実際を学修します。日々ダイナミックに躍動するビジネスにおけるファイナンスの仕組みと現状とが、具体的事例に即して分かり易く学べます。	複雑化・高度化した企業ファイナンスの基礎的知識が身に付きます。これら専門知識の修得により、グローバル化、情報化、自由化が進展するビジネスで大いなる活躍が可能となります。						◎			○		
コンピュータシステム論 C231-601-01	本講義では、コンピュータ内部で扱われる情報表現について学び、さらにコンピュータを構成するハードウェア、システムソフトウェアなどの概要について学ぶ。	コンピュータシステム(基礎理論・コンピュータ構成要素・システム構成要素・ソフトウェア)についてのそれぞれの理論や動作について説明できる。							◎	◎			
情報ネットワーク論 C331-606-01	インターネットやIoTに代表される情報ネットワークの概要とそれを支える基盤技術、必要な基礎理論をわかりやすく学ぶ。TCP/IPプロトコルを学ぶことで、インターネットと情報ネットワークについての理解を深める。情報技術者試験を念頭におき、TCP/IPに必要な基礎技術を理解することを目的とする。	情報ネットワーク、インターネットについて論じることができる。また、TCP/IPプロトコルを説明できる。							◎	◎			
情報セキュリティ C331-607-01	情報ネットワークの様々な脅威とその対策技術である情報セキュリティ技術に関係づけて説明する。情報処理技術者試験を念頭におき、情報ネットワークのセキュリティに必要な基礎技術を理解することを目的とする。	情報ネットワークを取り巻く様々な情報セキュリティに関わる脅威と、その対策技術としての情報セキュリティ技術を説明できる。							◎	◎			
データ構造とアルゴリズム C231-601-02	本講義では、各種のデータ構造(コンピュータ上での記録形式)について理解したうえで、登録、削除、整列などのアルゴリズム(処理の流れ、手順のこと)を説明する。処理説明は流れ図や擬似言語プログラムを使用する。	基本的には配列を使った繰返し処理ができ、応用的にはデータ構造に応じた保存と検索、および整列等ができるようにする。							◎	◎			

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技術を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
ソフトウェア開発論 C331-605-01	本講義では、コンピュータのソフトウェアを含むシステム開発の概念について学び、ソフトウェア開発の手順、システムの運用と保守などについて学ぶ。	ソフトウェア開発(システム開発技術・ソフトウェア開発管理技術)について、それぞれの理論や工程について説明できる。							◎	◎		
Webデザイン C231-901-01	本講義では、Webサイトの基礎を学び、ホームページ制作を通して、情報の発信者および受信者、それぞれの観点からビジネスを想定した情報伝達の表現方法を実習を通じて学ぶ。	Webサイトの基本を学び、実際にHTMLおよびCSSでWebページを作成する。ネットショップを想定し、オリジナルのWebページを作成する。							◎	◎		
マルチメディア論 C231-611-01	本講義では、人間(利用者)の感覚および知覚を学び、コンピュータによる情報処理、周辺機器や設備、環境などマルチメディア技術の基礎を学び、情報伝達の方法を考え、商学と関連付けて応用技術を学ぶ。	マルチメディアに関する基礎を修得する。CG-ARTS協会が主催するマルチメディア検定(エキスパート)に合格するレベルを目標にする。							◎	◎		
CGデザイン C331-611-01	本講義では、コンテンツ制作に必要なコンピュータグラフィックスのビジネスへの応用技術として、3次元CGやアニメーション(動画編集)など、実習を通じて学ぶ。	ビジネスの分野に関連するデジタルコンテンツ(3次元CGやアニメーション等)について、オリジナル作品を制作できるようにする。							◎	◎		
コンピュータグラフィックス C331-611-02	本講義では、コンテンツ制作に必要なコンピュータグラフィックスの基礎技術を学び、写真の加工や図形の描画、ポスター作成など、実習を通じて学ぶ。	写真の加工や修正を行い、文字やイラストを装飾して、オリジナル作品が制作できるようにする。							◎	◎		
先端情報システム論 C331-613-01	本講義では、IoTや人工知能のほか、クラウドコンピューティングや組み込みシステムなど最新の情報技術を学び、実際の生活やビジネスでの活用について具体例を挙げながら説明する。	IoTの基盤技術(センサ、クラウド、人工知能)や組み込み技術の概要、および活用例(自動車、家電製品、医療機器、産業機器など)について説明や考察ができる。							◎	◎		
データベース C331-608-01	データベースの仕組みを理解し、データベースを管理するためのツールの使用方法について学ぶ。	データベースシステムの基本概念と役割を説明できる。SQLやAccessを用いてデータベースを作成・管理・検索できる。							◎	◎		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体」、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
ビジネス実務g C231-239-56	本講義では、自立した消費者として安心して安全で豊かな消費生活を営むことを目的として、消費者問題とこれらに対応して自らの利益を擁護・増進する知識を学ぶ。その上で、消費者市民社会の中において自主的かつ適切に行動することができる実践的な能力を身につける。	①安心して安全で豊かな消費生活を営むための知識を説明することができる。②修得した知識を活用して行動に結びつけることができる。		◎	○				△	△		△	
ビジネス実務h C231-239-57	国際ビジネスの典型である貿易取引を遂行するために必要とされる種々の書類を実際に作成する。一般にそれらの書類は英語で作成されるので、まずはパソコンによる英文文書入力の練習から始め、次いで英文書類作成のための知識、ルール、慣習を学修する。	国際ビジネスを遂行するための各種書類を作成するための知識を説明できる。そしてそれらの知識を活用して実際に書類を作成することができる。さらにパソコンの文書入力にあたってのタッチメソッドをマスターすることができる。		◎		○				△		◎	◎
SDGsとビジネス C231-239-58	この講義では、SDGsとビジネスの関係を理解することにあります。SDGsは、国際的な取り決めの下、地球環境を守る枠組みです。また企業にとっては、自社のビジネス活動を遂行するにあたって避けられないものとなっています。この講義では、イオン等の環境先進企業の事例を垣間見ながら、SDGsとビジネスについて学んでいきます。	この講義では、SDGsとビジネスの関係を理解することができます。主にマーケティングの視点から、ソーシャル・マーケティング、エコロジカル・マーケティング、環境マーケティングについて理解を深めていくことができます。こうしたマーケティングの変化はビジネスの変化でもあり、SDGsとビジネスの関係を理解することができるようになります。	◎	◎									
ビジネス法務 C231-239-59	実社会においてビジネスを行う際には民事法規、行政法規、刑事法規などさまざまな法律の適用を受け、あるいは業務上活用する必要がある。このため、本講義では、ビジネスパーソンとして法令を遵守し、あるいは活用する必要がある基礎的な法律の知識や、ビジネスの各場面における法律への対応方法を幅広く学ぶ。	①ビジネスを行う際に必要な法律の概要を説明することができる。②ビジネスの各場面における法律への対応方法を説明することができる。		◎	○			△	△	△	△		

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9	
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
地域ビジネス論 C231-239-60	商業を中心に地域に根差したビジネスの活性化策を模索します。停滞または衰退地域のビジネス(商業集積、商店)の活性化およびまちづくりを進めるための理論的枠組みと実践的手法を学びます。	地域ビジネス活性化はまちづくりと関連することから、履修者が、地域資源調査、街区調査、立地分析、都市計画、生活者行動調査等々の手法により問題を分析し、地域ビジネス活性化とまちづくりの提言ができる能力を身につけることができます。	◎									○	
エリア・リサーチⅠ C231-234-52	地域経済の振興を担うシンクタンク(政策研究機関)である中部圏社会経済研究所と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学びます。	地域経済に関する知識、経済分析手法の把握する素養、それらを駆使して地域経済に対する提案を行う力、さらにフィールドワークを行うことで協働の実践力が身につきます。	◎									○	
エリア・リサーチⅡ C231-239-61	中部地域に立地する企業の事例研究を行います。この事例研究は、我が国の中でも製造業が集積する地域のひとつである中部地域の製品戦略を組織間関係の視点で学修します。	この講義では、製品化、組織間関係、ブランド戦略を中心に、中部地区における企業の事例研究を通して企業の優位性と課題を見出す力を養っていきます。	◎									○	
エリア・リサーチⅢ C231-238-51	ソーシャルビジネスに関するプロジェクトへの参加を通じ、実践的な学びを行う。グループ単位の活動がメインとなり、集団での成果実現に関する感覚を磨きます。自らの能力を理解し、それらを伸ばすための更なる学修につなげていきます。	成果の達成するだけでなく、成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさや楽しさなどを実践を通じて生きた言葉で表現できるようになります。さらに、自らの能力理解について表明できるようになります。	◎									○	
企業と法 C231-216-51	会社についての法的な概念について学んだ上で、会社法の内容の中核である株式会社をめぐる法規制の基礎を学ぶ。	会社の役員が会社の運営を行う上で遵守しなければならない規範の基礎を理解することができる。また、法的視点から見た株式会社のあり様についての知識が身につく。	◎									○	
総合民法 C231-216-52	民法の中で、財産の帰属や取引に関わる財産法について学ぶ。財産法の基礎にあたる民法総則、物の帰属や移転に関わる物権法、契約や貸金の回収に関わる債権法の中から、経済活動にとって特に重要な項目について学修する。	民法についての大まかな知識を獲得することができる。問題が生じた際に、その問題を解決するための考え方を身につけることができる。	◎									○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
租税法A(基礎) C231-212-51	最近の租税に関する事例を題材として、租税法の基本原則、税金の種類と計算方法、申告と納税、税務調査と不服申立てなど基本的事項を修得する。	租税法の基礎知識を修得することができる。これにより、経済取引における予測可能性を確保するための税務の知識を養うことができる。		◎							○		
ビジネス英語 I a C331-143-01	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学修(リーディング、リスニング、TOEIC問題)と単語力養成教材を学修します。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学修が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△	○	◎						◎	
ビジネス英語 I b C331-143-02	多くの企業が採用している英語力試験であるTOEICに慣れて得点を伸ばすことをねらいにしています。25以上のユニット学修(リーディング、リスニング、TOEIC問題)と単語力養成教材を学修します。	TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学修が中心です。パソコンによる自学自習が得意でない人や自分で到達目標を設定できない人にはお奨めしませんので、十分に考えてから履修してください。	○	△	○	◎						◎	
ビジネス英語 II a C331-143-03	国際ビジネスの典型である貿易取引の流れに沿って、取引当事者間で交わされるビジネス文書を素材として、そこに書かれた英語を学修する。まずは読む力を養い、次いで書く力を養う。	貿易取引の流れに沿ってそれぞれの場面で典型的に見られる専門用語や英文レター・メールにおける慣用的な表現を理解し、実際の文書作成に応用できる。将来こうした分野に進もうと考えている者にとって、英語を読む力と書く力を高めることができる。	○	○		◎					○	◎	
ビジネス英語 II b C331-143-04	国際ビジネスの典型である貿易取引の流れに沿って、取引当事者間で交わされるビジネス文書を素材として、そこに書かれた英語を学修する。春学期IIaのアドバンストなクラスとして、特に書く力を養うことに力点を置く。	貿易取引の流れに沿ってそれぞれの場面で典型的に見られる専門用語や英文レター・メールにおける慣用的な表現を理解し、実際の文書作成に応用できる。将来こうした分野に進もうと考えている者にとって、英語を読む力と書く力を高めることができる。	○	○		◎					○	◎	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2									
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力									
				C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。	
ビジネス英会話Ⅰ C331-141-01	現在の英語力を利用して、将来使えるような力をつける。英語を話すとき、リラックスして話せるようにする。単語の数を増やす。	The overall objective of this course is to improve student's conversational ability.	○	△		◎							◎
ビジネス英会話Ⅱ C331-141-02	現在の英語力を利用して、将来使えるような力をつける。英語を話すとき、リラックスして話せるようにする。単語の数を増やす。	The overall objective of this course is to improve student's conversational ability.	○	△		◎							◎
ゼミナールⅠ C232-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文等につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。卒業論文等の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○	
ゼミナールⅡ C332-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文等につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。卒業論文等の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○	
ゼミナールⅢ C432-842-01	演習テーマに関連する課題について文献・資料に基づき研究し、これを発表し、他の受講生と議論することにより、各自の卒業論文等につながる研究を深める。	演習テーマに関連する課題について調査・分析し、それを発表する方法を身につけることを目標とする。卒業論文等の執筆の基礎力・応用力を身につけることを目標とする。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○	
卒業研究 C436-845-01	ゼミナールⅠ～Ⅲで身につけた能力に基づき、演習テーマに関連する課題に関連する各自の研究を深め、これを卒業論文等として発表する。	卒業論文等に関連する仮説を設定し、参考文献・データを適切に収集し、これらに基づき仮説を検証し、検証結果を論文として執筆することができる。	○	○	(いずれか1つ、または複数の項目について)◎						◎	○	

商学部商学科 カリキュラムマップ			商学部商学科のディプロマポリシー (DP)									
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	C-DP1	C-DP2								
			本学建学の精神である学一体、「報恩感謝」への深い理解、高い倫理観と豊かな人間性	ビジネスに関する専門的能力、およびビジネスの現場をはじめとする協働の場において様々な問題解決を図る能力								
			C-DP1-1	C-DP2-1	C-DP2-2	C-DP2-3	C-DP2-4	C-DP2-5	C-DP2-6	C-DP2-7	C-DP2-8	C-DP2-9
			幅広い教養を身につけている。	ビジネスの現場において必要不可欠とされる広範な知識や技能を修得している。	流通、およびマーケティングに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	国際ビジネスに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	会計に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	金融に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	情報通信技術に関する深い知識や優れた技能を身につけている。	ビジネスと情報との関わりに関する深い知識や優れた技能を身につけている。	修得した専門的な知識や技能を用いて、ビジネスの現場において自ら問題を発見し、それを解決することができる。	ビジネスの現場における問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
産官民提携講座b C231-861-03	分事]としてSDGs (持続可能な開発目標)の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本(理念、歴史、現状、未来)を説明できる。(2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。(3)「自分事]としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。		◎							○	
産官民提携講座c C231-861-04	ステイナブル・スマート]を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招聘し、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際を学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実際を理解し、次いで省CO ₂ を実現する需要と供給両側面のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶことを目標とする。		◎							○	
産官民提携講座d (地域連携学I) C231-861-05	社会問題の解決に貢献するソーシャルビジネスの創業・経営者を講師として招聘し、産官では対応できない問題に市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ。	第1に社会問題と解決策の最先端を学び生活者としての視野を広げ、第2に社会起業家との対話を通じて異文化コミュニケーション能力の向上を目指す。		◎							○	
産官民提携講座e (課題解決型演習 I) C231-861-06	まちづくり、地域活性化等で課題を抱える連携先とともに、課題克服策を検討し、対策を実践するフィールドワーク型の演習である。	地域問題の診断力、解決策の立案力、実務家への提案力と協働を通じた変革推進を支えるプロジェクトマネジメント力等の修得を目標とする。		◎							◎	
産官民提携講座f C231-861-07	仕事と職場のルールである「ワークルール」の理解を通じて、労働法・社会保険関連の知識を実例に即して身につけることを目的とする。また、社会保険労務士が取り扱う業務の実際や、社会人になるための基礎知識、職場で生き生きと働くためのノウハウを伝授する。	雇用・労働に係る社会的課題へのアプローチ方法を理解することを目標とする。社会保険労務士の業務内容・活躍のフィールドを学ぶことを通じ、企業・個人にとっての社会保障制度の意義を理解する。		◎							○	
インターンシップ C232-861-01	将来のキャリアに関連した職業体験を行う。	将来のキャリア設計をより具体的に描くことができる。		◎							○	○

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項